

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月17日(水)

事務事業		給水装置等管理事業		担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	42121
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	水道法、深谷市水道事業給水条例、深谷市水道事業給水条例施行規程、深谷市水道事業指定給水装置工事事業者規程				
	小項目	2 水の安定供給と下水処理の適正化							
	主要プロジェクト								
事業概要		給水装置工事の適正な施工・維持管理を図るため、条例等に基づく給水装置工事の申請・審査・検査及び維持管理等の指導を行う。							
目的 ※何のために		給水装置工事及び維持管理などについて指導・監督を行い、水道利用者への安全・安心な水の供給を確保する。							
対象 ※誰・何を対象に		給水装置工事事業者及び給水装置等							
手段 ※どのように		条例等に基づく給水装置工事の申請受付・審査・検査及び維持管理等の指導を行う。							
成果 ※何を求めるか		条例等に基づく給水装置工事及び維持管理等が適切に行われ、安全・安心な水道水の供給が確保できる。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・給水装置工事にかかる申請・審査・検査等				・			
		・給水台帳の管理				・			
		・指定給水装置工事事業者の指定および指導・監督				・			
		・貯水槽水道に関する指導等				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和7年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	5.75	5.65	5.65	5.50	5.45	
	人件費相当試算※	45,249,953	45,257,433	46,455,662	46,624,017	48,006,265	
	総事業費試算	45,249,953	45,257,433	46,455,662	46,624,017	48,006,265	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	給水装置工事申請件数	目標値	件							
		実績値		1,138.00	1,014.00	1,193.00	932.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標設定不可・市の働きかけによるものでないため/当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	貯水槽設置件数	目標値	件							
		実績値		18.00	9.00	13.00	7.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標設定不可・市の働きかけによるものでないため / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 3	貯水槽の指導件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標：指導なし（ホームページで情報提供） / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	給水装置工事竣工検査実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		竣工検査申請に対し、検査は100%実施しているため / 竣工検査件数/竣工検査申請数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	給水装置工事竣工検査時改善指導を行った割合	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		2.45	3.29	3.77	3.21			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標：指導なし / 指導件数/竣工検査申請件数							
	実績値の算出式			29/1180	33/1003	45/1193	30/932			
成果指標 3	貯水槽の指導を行った割合	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標：指導なし（過去指導実績なし） / 指導件数/貯水槽設置数							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和7年度の給水装置の工事承認申込件数は、932件あり、そのうち、貯水槽の設置は7件あった。また、貯水槽に関する指導事例は特に発生していない。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和7年度、給水装置工事竣工検査のあった、932件に対し滞りなく検査を実施し、竣工を確認した。 竣工検査時の、市から給水装置工事事業者に対する、指導件数・割合も減少した。いずれも写真不足や耐圧試験の認識不足による軽微な内容であった。
			評価者 給配水係 松村正康

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	給水装置業務において、適切な業務執行体制の整備や指定工事事業者に対する指導、監督により、円滑な業務執行ができた。
			評価者 給配水係 松村正康